

# 中小企業の DX 推進に関する調査 (2025年)

## (アンケート調査)

2026.2.6  
(独) 中小企業基盤整備機構 広報・情報戦略統括室 総合情報戦略課



### 【調査結果のポイント】

- ・DXに「既に取り組んでいる」「取組みを検討している」企業は39.1%で、前回調査(2024年12月)とほぼ横ばい。
- ・DXに「既に取り組んでいる」企業の進捗状況は、デジタライゼーション(「個別の業務や製造等のプロセスのデジタル化を進めている」)の割合が増加。
- ・DXの取組みとして「AIの活用」が28.4%と、前回調査に比べて14.1ポイント上回る大幅増加。
- ・DX推進に当たってIT・DX推進に関する専門人材の不足や予算の確保が課題。

\*前回調査結果(2024年12月公表) URL: [https://www.smrj.go.jp/research\\_case/research/questionnaire/index.html](https://www.smrj.go.jp/research_case/research/questionnaire/index.html)

### (1)調査概要

- ・調査日時:2025年12月5日～12月18日
  - ・調査方法:Webアンケート
  - ・調査対象:全国の中小企業者等1,000社
- (中小企業基本法における中小企業者の定義に基づく)

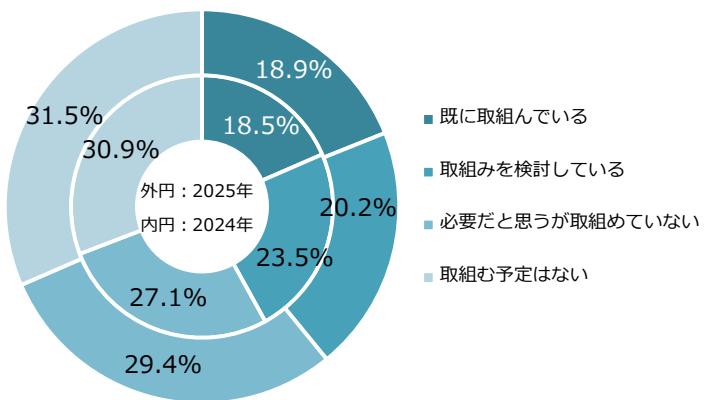
図表1 調査対象業種の構成比

全産業(合計)		回答企業数/構成比(%)	
		1,000	100.0
製造業		500	50.0
建設業	建設業	100	10.0
	卸売業	100	10.0
非製造業	小売業	150	15.0
	情報通信	50	5.0
サービス業	宿泊・飲食業	50	5.0
	その他	50	5.0

### (2)DXの取組みは前回調査とほぼ横ばい

DXに「既に取り組んでいる」「取組みを検討している」企業は39.1%で、ほぼ横ばいである。一方、取組む予定はない企業も31.5%存在する(図表2)。

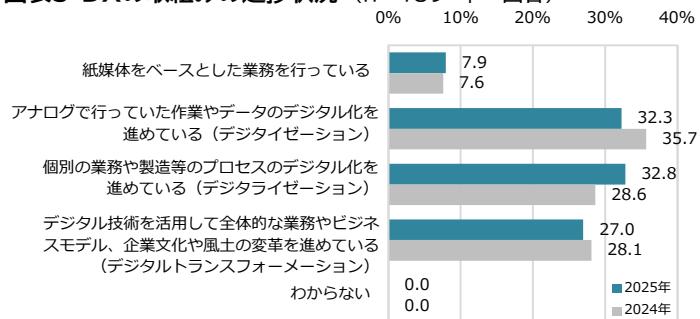
図表2 DXの取組み状況(n=1,000 単一回答)



### (3)進捗状況はデジタライゼーションが増加

DXに「既に取り組んでいる」企業の進捗状況は、デジタライゼーション(「個別の業務や製造等のプロセスのデジタル化を進めている」)の割合が増加し、首位になっている(図表3)。

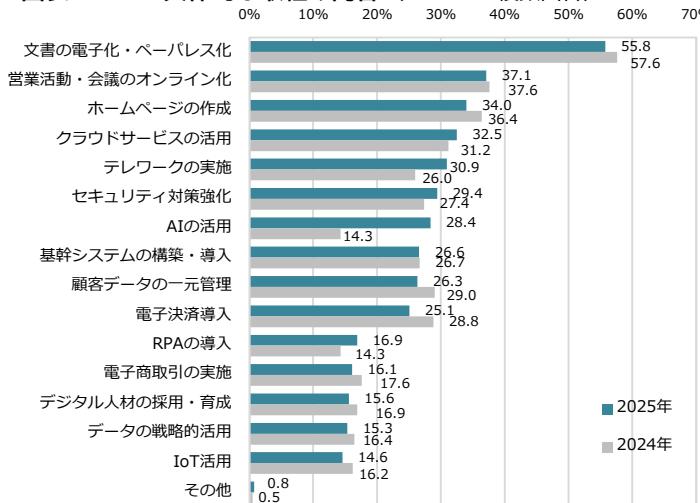
図表3 DXの取組みの進捗状況(n=189 単一回答)



### (4)DXの具体的な取組みは「AIの活用」が大幅増加

DXに「既に取り組んでいる」「取組みを検討している」企業のうち、具体的な取組み内容として「AIの活用」が28.4%と、前回調査に比べて14.1ポイント上回る大幅増加。「クラウドサービスの活用」「セキュリティ対策強化」「テレワークの実施」「RPAの導入」も増加(図表4)。

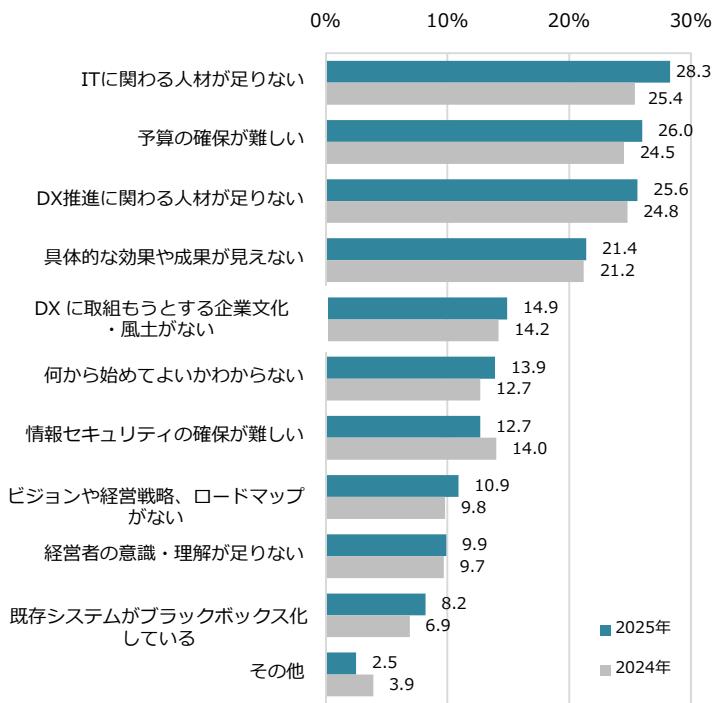
図表4 DXの具体的な取組み内容(n=391 複数回答)



## (5) DXに取組むに当たっての課題は、IT・DXに関する専門人材の不足と予算の確保が上位

DXに取組むに当たっての課題の上位は、「ITに関わる人材が足りない」が28.3%。次いで「予算の確保が難しい」が26.0%、「DX推進に関わる人材が足りない」が25.6%という順となっている(図表5)。

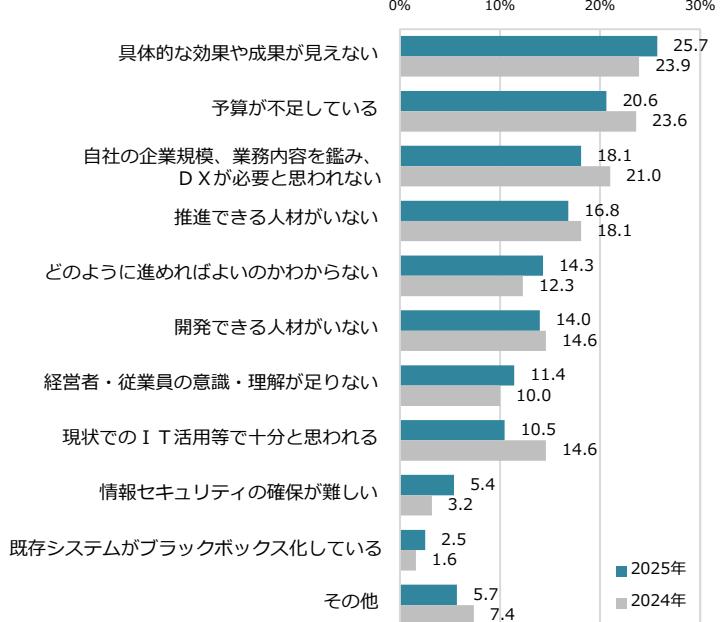
図表5 DXに取組むに当たっての課題 (n=1,000 複数回答)



## (6) DXに取組む予定がない企業の理由は、「具体的な効果や成果が見えない」「予算不足」が上位

DXに「取組む予定はない」と回答した企業の、取組む予定としない理由は、「具体的な効果や成果が見えない」(25.7%)、「予算が不足している」(20.6%)が上位となっている(図表6)。

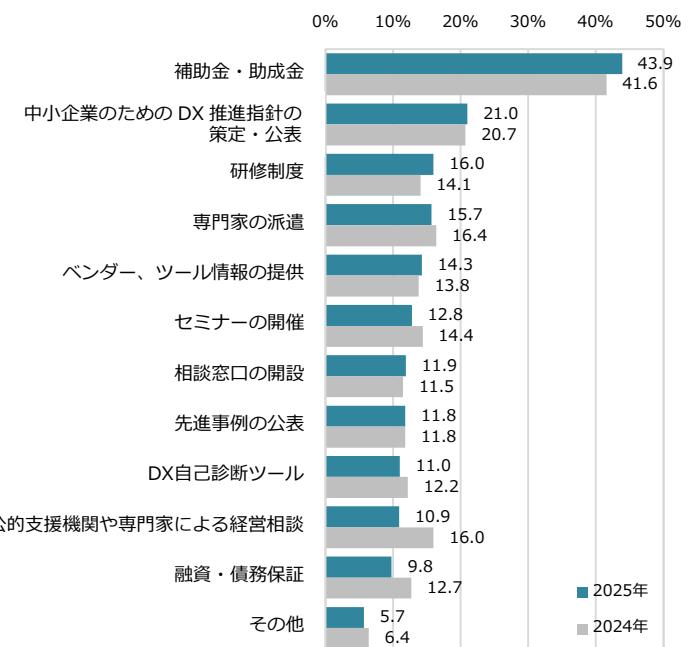
図表6 DXに取組む予定のない理由 (n=315 複数回答)



## (7) 補助金・助成金といった資金支援ニーズ、指針の策定・公表、研修制度のニーズも高く

DXの推進に期待する支援策は、「補助金・助成金」「中小企業のためのDX推進指針の策定・公表」の割合が高い。また「研修制度」「ベンダー、ツール情報の提供」等が前回調査に比べてポイントが増加している(図表7)。

図表7 DXの推進に向けて期待する支援策 (n=1,000 複数回答)



## (8)まとめ

今回の調査結果では、DXに「既に取り組んでいる」「取組みを検討している」企業は39.1%と前回調査とほぼ横ばいであるが、DXの具体的な取組みとして「AIの活用」が大幅に増加した。

またDXに「既に取り組んでいる」企業の進捗状況においても、デジタライゼーション(「個別の業務や製造等のプロセスのデジタル化を進めている」)の割合が増加しており、DXの取組みが高度化している。

一方、課題としては、資金面のほか、IT人材や業務変革を担うDX人材の不足が高まっている。

加えて「具体的な効果や成果が見えない」ことも、DXに取組むまでの課題として浮き彫りになっている。

支援ニーズにおいては、前回調査に比べて「研修制度」「ベンダー、ツール情報の提供」等がポイントを増加させており、こうした支援策を活用してIT・DX人材の育成、費用対効果に見合ったDXに取組むことを望む経営者の意向が反映されたものと考えられる。

独立行政法人 中小企業基盤整備機構  
広報・情報戦略統括室 総合情報戦略課  
担当者 : 津田、麻野、吉見  
Email : [chosa@smrj.go.jp](mailto:chosa@smrj.go.jp)